



# 七州の覇



熱誠事に当りなば 海内比なき校風の  
確立などか難からむ

令和6年7月9日発行  
共通テストまで193日

## この夏を、かけがえのない夏に

### ○オープンキャンパスに参加しよう

第1志望を絞り込んでゆくのに、オープンキャンパスに参加するというのは有効な手段です。できれば複数の大学のオープンキャンパスに参加し、大学の学びを実体験してください。

### ○志望校の受験科目等を調べよう

大学受験について、自分の長所を生かすために志望校の受験科目を知ることはとても大切です。先輩からは志望校はできるだけ早く決めた方が良いというアドバイスもあります。オープンキャンパスと並行して志望する大学の受験科目や研究内容も調べてください。

### ○三者面談では情報の共有と率直な意見交換を

夏休み中に各学年で三者面談を実施します。クラスごとに計画が立てられていますので、自分がいつなのかを確認してください。進路は自分の問題でありながら、自分だけでは乗り切れません。学校、保護者、そして「私」がタッグを組んで初めて良い結果が得られるものです。進路等に関する自分の思いを率直に話してください。そして親の思いも聞き、学校のアドバイスを参考にして、自分の進路希望を少しずつ具体化させていきましょう。

### ○学習計画を立て、先を見据えた受験の準備をすること（主に3年生に向けて）

① 国公立大2次試験、共通テストから逆算して、月ごと、週ごとの学習計画を立てなさい。

② 総合型選抜、学校推薦型選抜の受験を考えている場合、

願書はいつから入手可能で、  
出願までにどんな書類が必要で、  
受験科目は何で、  
受験日はいつか、

を確認しなさい。

※ちなみに、今年度の共通  
テストウェブ出願は見送ら  
れることになりました。



③ オープンキャンパスには参加すること。

④ 赤本で過去問を3年分ほど解いて、合格ラインを確認しなさい。

⑤ 模試の振り返りを丹念にやりなさい。出来なかった問題こそ繰り返しやりなさい。

⑥ あくまでも、一般入試で合格するための学習をしなさい。

※総合型選抜や学校推薦型選抜でも、合格できる確率は50%以下です。

⑦ ウェブ出願が基本ですので、自宅にインターネット環境を整えること。

以上、夏休みの間にやるべきことです。

今回は大学入試の話です

※裏面は新課程の共通テスト特集です



進路部長の言野です

※先日、東北大学入試説明会に参加してきました。R6前期試験において、福島を受験生（＝安高の受験生）の可否を決めたのは、文学部では英語と国語の出来、工学部は英語と数学と物理の出来だったそうです。

R7入試については、共通テスト「情報」が全学部で50点となります。またAOⅡ、AOⅢについては、これまで出願書類に与えられていた配点がなくなり、その分が面接点に含められることになりました。これは、志望理由書等の書類が生成AIで作成されたものか、本人が書いたものかの判断ができないための措置とのこと。結果として、面接の重要性が増すこととなります。

その次が「いつでもできる」。そして四つ目が「出したいときにできる」。物事の習得や獲得のステップは、僕は4ステップだと思っています。一つ目が「わかる」です。その次が「できる」。

仙台育英高校野球部監督 須江航

「苦手」にどう向き合うか！ 「苦手」を言い訳にして、苦手科目から逃げてはいないか？ 学習の基本は

「反復」と「継続」です。繰り返し繰り返し、辛抱強く取り組むこと以外に方法はありません。

## 34 新課程からの共通テストの変更点整理



国語、地歴公民の変更が大きく、情報が追加され6教科となる「情報Ⅰ」への対応など、高3での負担が増えるという声も多い

	変更点・特徴	留意点
時間割	<ul style="list-style-type: none"> <li>■国語 80分→90分</li> <li>■数学② 60分→70分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体の時間割が長くなったため、受験体力をつけるトレーニングが必要</li> </ul>
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「実用的文章」新設(配点20点)→評論・小説・古文・漢文の配点各45点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【教科共通】</li> <li>●与えられる情報量が多く、多様であり、高い読解力が求められる</li> <li>●資料や情報の結びつけや考察など、高い思考力を求められる</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>【国語】</li> <li>実用的文章への対応</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>【数学】</li> <li>文系の数学Cへの対応</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>【地理歴史・公民】</li> <li>難関大は総合科目のみの受験は不可</li> </ul>
地理歴史・公民	<ul style="list-style-type: none"> <li>■必修修+選択科目の出題で必修科目部分の配点は25点</li> <li>■授業等での探究の場の設定がなされた思考のプロセスを意図した出題</li> <li>■原因と結果、提言と元になる意見など、情報を適切に結びつけることが求められる問題が出題</li> </ul>	
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>■数学①が全問必答に</li> <li>■数学②で解答すべき大問が4問→6問に</li> <li>→数学B:数列、統計的な推測、数学C:ベクトル、平面上の曲線と複素数平面に対応した出題となり、3項目の内容の問題を選択</li> <li>■統計的な推測から仮説検定についての問題が出題</li> <li>■平面上の曲線と複素数平面からコンピュータソフトを題材に、図形の形状などを考察する問題が出題</li> </ul>	
理科	試作問題公表なし	
英語	■リーディングでライティングの学習場面の設定	
情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>■全体として知識再生型でなく、与えられた情報から考えて解答する出題多数</li> <li>■プログラミングは大学入学共通テスト独自の日本語混じりの疑似言語を使用</li> </ul>	

※2022年11月9日公表「試験問題作成方針」 © Benesse Corporation

## 35 新課程における大学入学共通テスト試験時間割のイメージ



国語、数学②で試験時間が10分ずつ増加し、新設の情報Ⅰが60分、6教科受験の場合は合計80分の試験時間増となる

1日目		2日目		1日目		2日目	
2科目受験 9:30~11:40	地理歴史 公民	9:30~10:30	理科①	2科目受験 9:30~11:40	地理歴史 公民	理科専門と理科基礎の試験時間を統合	理科
1科目受験 10:40~11:40				1科目受験 10:40~11:40			
13:00~14:20	国語	11:20~12:30	数学①	試験時間 10分延長	国語	13:00~14:10	数学①
15:10~16:30	外国語	13:50~14:50	数学②		15:20~16:40	外国語	試験時間 10分延長
17:10~18:10	リスニング	2科目受験 15:40~17:50	理科②	17:20~18:20	リスニング	2日目の最後の時間帯で実施	情報
		1科目受験 16:50~17:50					

※「令和7年度大学入学共通テストに係る大学入学共通テストの試験作成の方向性及び試験時間等について」(2022年11月9日)よりベネッセで作成 © Benesse Corporation

### まとめ

新課程の共通テストは、「情報Ⅰ」の追加、出題範囲の変化、試験時間の延長等、学習面の負担が増加します。

### 対策例

- ① 「情報Ⅰ」はプログラミングの分野の克服がカギとなる。これは夏休み中に集中して取り組みたい。
- ② 共通テスト演習の機会をできるだけ設けて、本番同様の「実施形式」と「実施時間」に慣れる。
- ③ 特に英語リスニング(1日目最終科目)や情報Ⅰ(2日目最終科目)の演習は、一番最後の時間帯にすることで、ある程度疲れた状態で問題を解くことに慣れていく。
- ④ 教育学部における「情報Ⅰ」の配点比率が全体的に高めなので、文系の教員志望者は注意すること。
- ⑤ **但し、君たちが行きたい大学は、2次試験の配点が高いので、11月ま**

**ではとにかく記述試験対策に力を注ぐように！**